

令和3年度 探究活動成果発表会実施基本要項

山形県立米沢興譲館高等学校 S S H企画部 S S H事務局

- 1 趣 旨 米沢興譲館版 DOC に基づき優れた探究的な学びを行ってきたグループがその成果を発表するとともに、全国 SSH 生徒研究発表会出場グループの選出に資する。また、1・2年生に優れた探究的な学びのロールモデルを示す。
- 2 期 日 令和3年5月14日（金）8:55～15:35
- 3 場 所 県立米沢興譲館高等学校 記念講堂等
- 4 内 容 令和2年度2月の校内生徒研究発表会にて選出された【科学研究領域】9グループと【プロジェクト型領域】3グループが、プレゼンテーション用ソフト等を用いて口頭発表を行う。
- 5 参加者 全学年生徒，教職員
- 6 指導助言 山形県立産業技術短期大学校・・・尾形健明 校長
山形大学・・・神戸士郎 教授，柳田裕隆 准教授
小池邦博 准教授，神保雄次 助教
藤田洋治 教授，山本陽史 教授
中森健之 教授
米沢市役所・・・相田隆之 地域振興主査
米沢商工会議所・・・後藤ちひろ 総務企画部
米沢ものづくり振興協議会・・・高橋 洋 販路開拓支援員
山形県教育庁高校教育課・・・寺崎英之 指導主事
- 7 案 内 本校保護者，県内及び隣県の S S H指定校，置賜地区高等学校，置賜地区中学校，置賜教育事務所，市町村教育委員会，県内理数科・探究科設置校 宛に動画配信先 URL を案内する。

8 日 程	8:35	講堂集合、出欠確認、諸連絡	
	8:55	開会式	
	9:15	前半の部(85分) 〔5グループ×（発表10分+質疑応答4分+講評2分）〕	
	10:40	休憩	
	10:50	後半の部(70分) 〔4グループ×（発表10分+質疑応答4分+講評2分）〕	
	12:05	昼食休憩	審査集計
	13:00	プロジェクト型発表の部(50分) 〔4グループ×（発表10分+質疑応答4分+講評2分）〕	
	13:50	投票、休憩	審査集計
	14:05	閉会式 講評【自然科学領域】【人文科学領域】【プロジェクト型領域】各1名。審査委員長より結果発表とご講評。【科学研究領域】最優秀・優秀・優良および【プロジェクト型領域】最優秀賞は校長より表彰	
	15:05	アンケート記入・片付け	
	15:35	解散	

- 9 表彰 (1) 外部有識者による厳正な審査の上、【科学研究領域】9グループより最優秀賞、優秀賞、優良賞それぞれ1グループずつ、【プロジェクト型領域】3グループより最優秀賞を選出する。また、自然科学系研究の最上位グループより優先的に全国SSH生徒研究発表会への出場資格(1チーム)を得る。
(2) 発表班12グループのうち最優秀・優秀・優良賞以外の班から鷹山賞(先生・一般賞)、御前橋賞(生徒賞)を選出する。
- 10 審査方法 本校で定めたルーブリックに基づくパフォーマンス評価表を審査及び投票の基準とする。
- 11 集計 各クラス選挙管理委員の協力により、投票の集計を行う。
- 12 発表順

順	領域	研究タイトル
1	科学研究	建造物の配置と火災旋風
2	科学研究	よりよい授業形態を求めて
3	科学研究	環境 DNA を用いたキタノメダカ(<i>Oryzias sakaizumii</i>)の生育域の模索
4	科学研究	透明骨格標本の脱脂工程の改良
5	科学研究	高校生のワクワクを向上させる授業形態
～休憩～		
6	科学研究	デロビブリオ属細菌の嗜好性
7	科学研究	風レンズのつばの形状による発電量の変化
8	科学研究	μ 粒子の寿命測定
9	科学研究	マインドセットによる学習効率の向上
～昼食休憩～		
10	プロジェクト型	NON-JAPANESE の日本人に対する自己開示の特徴 －自己紹介の視点から－
11	プロジェクト型	家庭から男女平等を考える～家事分担の視点から～
12	プロジェクト型	カフェを利用した地域振興を考える